

気ままに、

思うまま、

ぶらり

山口市観光ガイドブック

山口市
YAMAGUCHI CITY



ぶらり 山口

Bu-Ra-Li

Yamaguchi city
Guide Book



ぶらり 山口

Bu-Ra-Li

Yamaguchi city
Guide Book

観光案内所

【新山口駅観光案内所】
所在地／山口市小郡下郷1357
(新山口駅新幹線口2階)
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／083-972-6373

【山口観光案内所】
所在地／山口市惣太夫町2-1
(山口駅1階)
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL・FAX／083-933-0090

【湯田温泉観光案内所】
所在地／山口市湯田温泉2丁目1-23
(県道204号線沿い)
営業時間／9:00～19:00
休業日／年中無休
TEL／観光案内 083-901-0150
宿泊案内 083-922-1811
FAX／083-901-0151

【香山公園前観光案内所】
所在地／山口市香山町6-11
(瑠璃光寺五重塔そば)
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／083-934-6630
FAX／083-934-6629

山口市観光情報サイト 西の京やまぐち

<http://yamaguchi-city.jp/>



「ぶらり山口」発行／山口市観光課 2012年3月

観光のお問い合わせ

【財団法人山口観光コンベンション協会】
所在地／山口市惣太夫町2-1(山口駅2階)
TEL／083-933-0088
FAX／083-933-0089
Eメール／info@yamaguchi-city.jp

【湯田温泉旅館協同組合】
所在地／山口市湯田温泉5-2-20
TEL／083-920-3000
Eメール／yudaspa@c-able.ne.jp
<http://www.yudaonsen.com/>

【秋穂観光協会】
所在地／山口市秋穂東6570
TEL／083-984-3741
FAX／083-984-5638
Eメール／aio@yamaguchi-shokokai.or.jp
<http://www.y-shoko.com/akisho/>

【徳地観光協会】
所在地／山口市徳地堀1659
TEL／080-2906-8732
FAX／0835-52-1737
Eメール／tokudi2005@yahoo.co.jp
<http://www.tokudi-kankou.jp/>

【NPO法人あとう観光協会】
所在地／山口市阿東徳佐中3628
TEL／083-956-2526
FAX／083-956-2527
Eメール／npo-ato@c-able.ne.jp
<http://www.ato-kankou.org/>

【山口市観光課】
所在地／山口市龜山町2-1
TEL／083-934-2810
FAX／083-934-2649
Eメール／kanko@city.yamaguchi.lg.jp
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

検索

もくじ

Contents

-  ぶらり 大内文化探訪3
-  ぶらり 歴史の道・萩往還7
-  ぶらり SL「やまぐち」号で行く9
-  ぶらり 湯田温泉へ行こう11
-  ぶらり 山口の食13
-  ぶらり 山口の食 〈お土産篇〉15
-  ぶらり 中部エリア17
-  ぶらり 南部エリア19
-  ぶらり 北部エリア21
-  山口 イベントカレンダー 23
-  山口 観光案内25

萩往還

山口といえば 萩 往還

維新の志士も通った街道。当時の人々の気持ちになって歩いてみよう。

詳しくは P.07へ

山口といえば 「やまぐち」号

煙突から噴き出す煙、息せき切って走る姿は迫力満点!

詳しくは P.09へ

湯田温泉

山口といえば 湯田温泉

白狐が見つけた美肌の湯。足湯もたくさんありますよ。

詳しくは P.11へ

南部Area

瀬戸内海を眺めるビュースポットが点在

詳しくは P.19へ

車えび料理

お食事は、車えびのフルコースで決まり!

詳しくは P.13へ

山口七夕

山口といえば 山口七夕

ちようちんまつり

ゆらゆらと灯る紅ちようちん。思わず見とれるほどの幻想的な光景が広がります。

詳しくは P.23へ

外郎

山口といえば 外郎

ぷるっとした食感と上品な甘さの外郎。各店舗の食べくらべも楽しい。

詳しくは P.15へ

大内文化

山口といえば 大内文化

大内文化の香りを感じながら、コースに沿って散策をお楽しみください。

詳しくは P.03へ

大内人形

山口といえば 大内人形

愛らしい表情の大内人形。作者によって顔が違うので、お気に入りの顔を探してみよう。

詳しくは P.15へ

北部Area

山と緑がいっぱいの自然スポット

詳しくは P.21へ

中部Area

歴史、文化、自然と見どころ満載

詳しくは P.17へ

ぶらり

Bu-Ra-Li

山口

Yamaguchi city Guide Book



山口といえば 大内文化



思うまま、気ままに、ぶらり

歴史、文化、自然、温泉と、たくさん魅力と出会いが待っている山口市。大内文化の面影を感じながら散策する。歴史の道・萩往還を歩いてみる。SL「やまぐち」号に会いに行く。のんびりと湯田温泉を楽しむ。

北は中国山地、南は瀬戸内海の、大自然を満喫してみる。あなたが引き寄せられる場所を訪れたら、思いつき見て、感じて、体験してください。

あなたの思うまま、気ままに「ぶらり」と過ごす山口の旅へ。

室町時代、大内氏が京を模して築いた山口には、華やかな大内文化の面影を色濃く残す史跡が点在しています。香山公園周辺、豎小路周辺をルートに沿ってぶらりと散策しながら、大内文化の香りを感じてみませんか。

大内文化探訪



大内文化とは

室町時代、山口を中心に栄えた大内文化。守護大名の24代大内弘世が京に憧れを抱き、山口の地で京に模した街づくりを始めたのをきっかけに、大内氏が滅亡するまでの約200年間、京や大陸の文化に影響された独自の文化が生み出されました。

大内氏は、朝鮮王朝や明国との交易で手にした強大な経済力を背景に、水墨画家・雪舟をはじめ多くの文化人を招いて、文化の興隆に尽力しました。



大内弘世公之像

香山公園コース



香山公園前 観光案内所で情報収集

町屋をイメージして作られた観光案内所。ベンチで五重塔を眺めながら、散策の計画を立ててみては？

営業時間 9時～18時
休業日 年中無休
TEL / 083-934-6630

ちょっと一服

散策の途中でひやしあめや甘酒、ソフトクリームなど、甘味を食べてひと休み。



ひやしあめ

枕流亭



枕流亭 02

幕末、薩摩藩の西郷隆盛や大久保利道、長州藩の木戸孝允らが倒幕の密議をした場所。元は一の坂川沿いにありましたが移築を繰り返し、昭和35年にこの地に移されました。

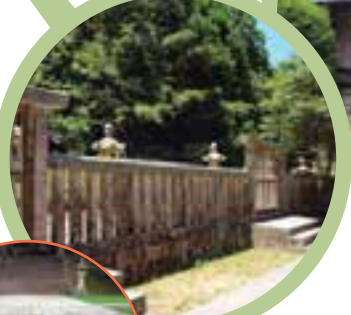
露山堂



露山堂 03

毛利敬親が藩庁を山口に移した際に、藩庁内に建てられた茶室。敬親が家来らと倒幕の密議を凝らしたとされています。明治24年にこの地に移築されました。

香山墓所



香山墓所 04

萩藩主毛利家の墓所。毛利敬親と夫人、跡継ぎの元徳など、計7基の墓があります。

うぐいす張りの石畳

通路に立ち、石畳に向かって手を叩いてみましょう。どんな音が聞こえる？



洞春寺観音堂



洞春寺観音堂 05

大内持盛の菩提寺である観音寺の仏殿として創建されたもので、永享2年(1430)創建とされています。大正4年に洞春寺境内に移建しました。

洞春寺座禅体験

一般の方を対象に行われる座禅体験。誰でも気軽に参加できます。

日時/毎週土曜日19:00～
所要時間/座禅が1時間、
茶話30分～1時間程度
予約/不要

山門洞春寺



山門洞春寺 06

洞春寺の場所には1400年頃、26代大内盛見が建立した国清寺がありました。山門はその創建当時のものとされています。全国的に貴重な四脚門が特徴。

五重塔

五重塔 01

室町時代、26代大内盛見が兄・義弘の菩提を弔うため、建立したとされています。屋根は檜皮葺(ひわだぶき)で、塔の胴は細くすっきりした印象。全国に現存する屋外の五重塔のうちで10番目に古く、その美しさは日本三名塔の一つに数えられます。日没～数時間ライトアップされます。



屋根を真横から見てみよう!

五重塔の裏山にある遊歩道を散策してみましょう。2～3分ほど登って行くと、五重塔の屋根を真横から見ることができます。



司馬遼太郎文学碑

(長州は、いい塔をもっている)と惚れ惚れするおもいであった。小説家・司馬遼太郎が「街道をゆく」で五重塔を紹介した1文が刻まれています。



香山通りの石垣

かつて築山館周囲の土壁に使われていた石で造られています。



ボランティアガイド

五重塔を中心に香山公園一帯を無料で案内します。公園入口の東屋に待機しているガイドに声をかけてください。

案内時間 土曜日・日曜日・祝日 9時～16時
(6～8月は17時まで)
案内時期 3月中旬～11月末
※12月、2月は日曜日・祝日のみガイド
※予約ガイドについては、市内ならいつでもどこでもガイドします。(P.25参照)



山口県政資料館



山口県政資料館 07

山口県政資料館(旧県庁舎)は大正5年に完成した、西洋の建築様式と和様式が融合した大正建築。現在は山口県政に関する資料を展示しています。隣の旧県会議事堂も見学できます。

開館時間 / 9:00～16:30
閉館日 / 月曜日・祝日(5/5、11/3は開館)・年末年始(12/28～1/4)
入館料 / 無料
TEL / 083-933-2268

藩庁門



藩庁門 08

幕末、毛利敬親が萩から山口の今の県庁の場所に藩庁の移転をしました。当時の門が今も残っています。

四季の五重塔

季節によって変化する風景をお楽しみください。

春...桜梅 夏...新緑 秋...紅葉 冬...雪景色





(徒歩時間約34分)

山口市菜香亭
明治10年頃に料亭として創業し、山口県出身の政治家や文人らが利用してきた「菜香亭」。平成8年に料亭としての幕を閉じたが、平成16年に移築復元されました。現在は、山口の観光拠点として利用されています。

観覧時間/9:00~17:00
休館日/火曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3)
入館料/大人(高校生以上)100円、子ども(小中学生)50円
駐車場/105台(無料)
TEL/083-934-3312

木戸孝允や佐藤栄作などの扁額を大広間に展示。

着物のレンタル・着付けサービス
大内文化の香りが残る山口を着物で散策しませんか?
実施時間
土曜日・日曜日 祝日 9時~17時
レンタル料金
2時間未満 2,500円
2時間以上 3,500円
※着付け料、着付け足袋、着付け小物も別途料金がかかります。
予約/前日までに要予約
山口市菜香亭
083-934-3312

レンタルサイクルあります!
普通自転車 2,000円
半日(4時間未満) 400円
1日(4時間以上) 400円
電動自転車 3,000円
半日(4時間未満) 500円
1日(4時間以上) 500円
※普通自転車は借りられたお客様は、山口市菜香亭に返却してください。
※電動自転車は伝承総合センターに返却してください。

龍福寺 04
重要文化財(本堂)
国指定史跡(大内氏遺跡館跡)

建永元年(1206)、18代大内満盛が創建した臨済宗の寺。弘治3年(1557)に現在の地に再建されました。室町時代の代表的な寺院建築として、国の重要文化財に指定されています。平成17~23年にかけて保存修理が行われ、椀瓦葺から檜皮葺の屋根にリニューアルされました。



山口ふるさと伝承総合センター 09

大内塗 箸づくり体験
山口の伝統工芸品・大内塗の体験ができます。漆と金箔でオリジナル模様の箸を作ります。

たくみ館 入口の模型で「檜皮葺」を間近に見よう!

檜皮葺(ひわだぶき)は、ヒノキの樹皮で屋根を葺く伝統的手法。樹皮を剥いて40~60センチの長さにし、下から上にずらしながら重ねていきます。屋根の優美な曲線を作り出すことができます。

大内氏館跡・庭園

龍福寺がある場所にはかつて大内氏の館があり、大内氏はここで政務をとりました。龍福寺周辺には、復元整備された枯山水庭園、西門、池泉庭園があり、当時の雰囲気を感じることができます。

八坂神社 10
重要文化財(本殿)
国指定史跡(築山跡)

八坂神社境内一帯には、28代大内教弘が築いたと言われる築山館がありました。築山館は、大内氏の居館であるとともに、交易使節や諸国大名の使者を接待する迎賓館としても使われたとされています。



山口市菜香亭まで 徒歩4分



雲谷庵 11
瑠璃光寺五重塔が見えます!

凌雲寺跡
山口市菜香亭から車で20分
国指定史跡



豎小路 08
古くからの町並みが残る豎小路。江戸時代には、萩往還として参勤交代の御成道にもなりました。周辺には大馬路・小路と付く街路が数多く残っています。



一の坂川 07
室町時代、京を模して作られた山口の街。一の坂川は、京都の鴨川に見立てられました。春には桜やツツジ、初夏にはゲンジボタルの名所となっています。



十朋亭 06
町屋を利用したおしゃれなお店でひと休み。
豎小路、一の坂川周辺には、町屋を利用した個性的なショップやカフェが点在しています。散策を楽しみながら、休憩ついでに気になるお店に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



大馬路ロビー 05
文亀3年(1503)、30代大内義興が建造したのが今の社殿と言われています。楼門、拝殿、本殿までを一直線上に連結させる構造で、山口地方に多く見られる様式。楼門、拝殿、本殿ともに国の重要文化財に指定されています。



今八幡宮 03
重要文化財



豊栄神社・野田神社 02
豊栄神社は、毛利輝元が萩に居城を移した際に、毛利元就を祀ったのを始まりとしています。明治に入ってから山口に移されました。隣接する野田神社は毛利敬親を祭神としており、敬親の子・元徳を配祭神としています。



常栄寺雪舟庭
国指定史跡及び名勝
山口市菜香亭から車で5分



山口サビエル記念聖堂
山口市菜香亭から車で5分

維新の志士たちも駆け抜けた、萩〜山口〜防府をつなぐ歴史の道「萩往還」。歴史ロマンあふれる萩往還を歩きながら、武士や庶民、幕末の志士たちの想いを感じてみませんか。

歴史の道・萩往還



萩往還とは

萩市、山口市、防府市をつなぐ萩往還は、毛利氏が慶長9年（1604）萩城築城後、江戸への参勤交代での「御成道」として開かれました。日本海側の萩（萩市）と瀬戸内海側の三田尻港（防府市）をほぼ直線で結び、全長はおよそ53km。江戸時代の庶民にとって山陰と山陽を結ぶ「陰陽連絡道」として重要な交通路であり、幕末には維新の志士たちも往来し、歴史の上で重要な役割を果たしました。

- 国指定史跡
- 「歴史の道百選」文化庁選定
- 美しい日本の歩きたくなるみち500選
- （社）日本ウォーキング協会選定

萩市

山口市

防府市

萩城跡 (A)

唐櫃札場跡 (B)

涙松跡 (C)

明木市 (D)

山口IC (E)

防府東IC (F)

防府西IC (G)

防府駅 (H)

三田尻御舟倉跡 (H)

一升谷の石畳 (E)

佐々並市の街道筋 (F)

防府天満宮 (G)

山口IC

山口駅

JR山口線

国宝瑠璃光寺五重塔

萩往還を歩いてみよう

〈天花坂口〜国境の碑〉約3km（約90分）

天花坂口〜国境の碑のコースは、萩往還の中でも難所の四十二の曲がりを歩きます。石畳のポイントも多いので、往時に想いを馳せながら、萩往還の雰囲気を楽しむことができます。

国境の碑 07

長門国と周防国の国境を示す碑。創設年代は不詳ですが、宝暦年間（1751〜1763）作成と推定される絵図に記入されているので、その頃には存在していたと推定されます。

一の坂一里塚 04

石で積み上げた一里塚。主要な街道には一里（約3.927km）ごとに塚が築かれました。この一里塚は、萩往還の中間点にあたります。

六軒茶屋跡 03

萩往還には茶屋が所々にありました。ここには昔、六軒の農家があり、軒先を茶店にして旅人をもてなしていたことから六軒茶屋と呼ばれるようになりました。

「裏」萩往還

毎年11月に山口市で開催される「山口天神祭」では、御神幸行列が練り歩きます。大市〜中市〜米屋町〜道場門前〜西門前〜黄金町〜山口駅通りと、萩往還とは異なるルートで練り歩きます。地元ではこのルートが萩往還という認識が強くある一方で、「裏」萩往還とも呼ばれているようです。

「裏」萩往還



キンチヂミの清水 05

冷水が湧き出ているという「キンチヂミの清水」。大正初期まで、ところを清水で冷やして通行人に売っていたそうです。

石畳のワケ

萩往還の途中で現れる石畳は、歴史の道らしい雰囲気を感ぜさせてくれます。しかし、なぜ、石畳なのでしょう。萩往還は、急峻な坂道や峠などの難所が多いのが特徴。そこで、土砂が崩れないようにしっかりと舗装するため、石畳を敷いたのです。

（石畳ポイント）萩往還の中で石畳の部分を示しています。

四十二の曲がり 02

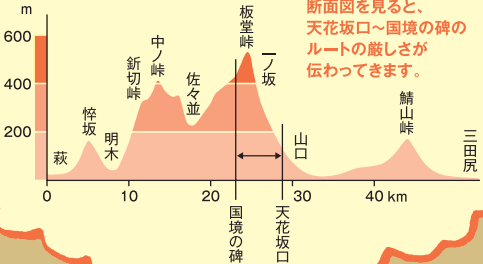
天花坂口から六軒茶屋まで、急勾配の坂がいくつも続きます。「ここは一の坂四十二の曲がり 降りてくださだんな様」という詩歌があります。

天花坂口 01

山口から萩へ向かう場合、この天花坂口から萩往還最大の難所がはじまります。

萩往還断面図

断面図を見ると、天花坂口〜国境の碑のルートの厳しさが伝わってきます。



板堂峠 06

標高537m。萩往還で一番標高の高い峠道です。現在は、砂利が敷かれています。

やまぐち萩往還語り部の会

萩往還の歴史を学び、萩往還をガイドする案内人を派遣する「やまぐち萩往還語り部の会」が2011年4月に発足。今後有料で、萩往還の案内人として活動していきます。

お問い合わせ
やまぐち萩往還語り部の会事務局
（山口観光マニパレンション協会内）
TEL 0833-920332
0833-920332
平日13時〜17時30分

レトロ客車

SL「やまぐち」号は、雰囲気の違う5つの客車を牽引しています。明治、大正、昭和と、それぞれの時代を表現したレトロ感いっぱいの車内でSLの旅を楽しめます。

1号車

展望車風客車
赤でコーディネートされた高級ホテルのような車内。展望デッキがついています。

2号車

欧風客車
ステンドグラスや凝ったインテリアなど、オリエント急行のような高級感ある車内。

3号車

昭和風客車
旧型の電灯や板張りの床など、昭和の懐かしい香りが漂う車内。

4号車

明治風客車
レトロなランプが明治の雰囲気を引き立っています。

5号車

大正風客車
天井には明かり取りの窓、鉛色の床など、大正ロマンを味わえる客車。

オリジナルグッズ SLチョコQ

山口地域鉄道部 販売用
山口駅窓口、SL「やまぐち」号車内で購入できます。
お問い合わせ/JR西日本山口地域鉄道部 TEL083-924-3581

キオスク 販売用
新山口駅、湯田温泉駅、山口駅、津和野駅の各キオスクで購入できます。
お問い合わせ/(株)ジェイアール サービスネット広島 TEL082-261-4782

山口線SL運行対策協議会オリジナルグッズ

SL「やまぐち」号関連イベントのプレゼント用として作成しています。

旅のおとも「駅弁」

新山口駅、山口駅のキオスクやSL車内では、様々な駅弁を販売しています。中には、SLに関する駅弁や山口ならではの駅弁があるかも？!



重連運転

運行日によっては、C56・C57号機を連結して走る「重連運転」となる日があります。

レトロな駅名看板



SL「やまぐち」号の各停車駅にはレトロな駅名看板! 開業当時に使われていた木製の駅名看板です。

レトロな時刻表

SL「やまぐち」号が出発する、新山口駅ホーム1番乗り場には、こんなレトロな時刻表が!

篠目駅の給水塔

蒸気機関車に水を補給するための給水塔。現在は使われていませんが、1922年に建てられたレンガ造りの給水塔が残っています。



エネルギー補給



山間にある仁保駅。往路では、石炭を燃やし、急勾配を登るための準備をします。



津和野駅 転車台

SL「やまぐち」号の終着駅である津和野駅。到着したSLは、構内の転車台で向きを変え、復路の運行の準備をします。自由に見学できる広場があるので、作業風景をじっくり見ることができます。



撮影タイム

往路では、地福駅で5分程度停車します。SLを降りて広々としたホームで記念撮影!

篠目

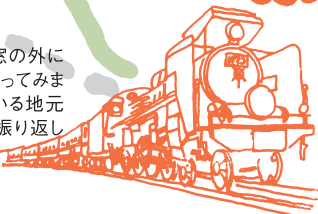


湯田温泉駅前足湯

湯田温泉駅には、SL「やまぐち」号を見ながら入れる足湯があります。停車時間に合わせて行ってみよう!
(停車時間) 11:02頃 / 16:46頃



SLに乗ったら手を振ろう!
SLに乗ったら窓の外に向かって手を振ってみよう。沿線にいる地元の方々も手を振り返してくれるかも。



トンネルは 要注意

SLは、石炭を燃やして走るので、煙を出します。SLがトンネルに入る時は、窓を閉め、展望デッキにいる方は車内へ移動しましょう。



津和野

津和野駅でSLを見よう!

船平山

徳佐

鍋倉

地福

名草

三谷

渡川

長門峡

鉄橋を渡るSL

往路では、長門峡駅を出発直後に鉄橋を渡ります。その姿をカメラに収めようと、多くのSLファンが集まります。

峠越え

仁保～篠目間の峠越えは、SL「やまぐち」号にとって難所。1000分の25の連続する急勾配を力強く進んでいきます。



SL「やまぐち」号



山口線の新山口駅から津和野駅までを走るSL「やまぐち」号。「貴婦人」の愛称で親しまれている蒸気機関車「C571」に乗って、レトロな雰囲気漂う鉄道の旅に出かけませんか?

SL「やまぐち」号

新山口を出発し、湯田温泉、山口、長門峡、そして、山陰の小京都・津和野まで、62.9kmを約2時間かけて走るSL「やまぐち」号。かつて、全国の蒸気機関車が廃止される中、昭和48年10月、山口線からもSLは姿を消しました。その後、多くのSLファンや地元を中心にSL復活への気運が高まり、昭和54年8月、山口線にSLが復活することになりました。現在も、「貴婦人」の愛称で親しまれる「C571」。多くの人々を乗せて山口線を駆け抜けています。

運行区間
新山口駅～津和野駅(1日1往復)
運転日
3月、11月の土曜日、日曜日、祝日、夏休み期間(運転日カレンダーによる)
全席指定
乗車券のほかに座席指定券が必要。乗車1か月前の10時から主なJRのみの窓口・旅行会社で購入可能。
電話予約
0088-245489
(受付時間8時～22時)

ぶらり「碑」めぐり

1 中原中也詩碑 (錦川通り)

「童謡」
しのめの よるのうみにて 洗笛鳴る。
ここよ 起きよ 目を醒ませ。
しのめの よるのうみにて 洗笛鳴る。
象の目玉の 洗笛鳴る。

2 山頭火句碑 (錦川通り)

「らんばこもおそぞも湯いてあふれる湯」

3 七脚の碑 (井上公園)

幕末、尊皇攘夷派の三条実美ら七人の公卿が幕府に退京を命じられました。毛利敬親公はこれを迎え、井上家(現・井上公園)を増築して住ませました。七脚らの志は実現し、明治の新政府が樹立。この碑は、七脚の遺跡を記念するため建立されました。

4 中原中也詩碑 (井上公園)

「帰郷」
これが私の故里だ
さやかに風も吹いてゐる
あ、おまへはなにをして来たのだと……
吹き来る風が私に云ふ

5 種田山頭火句碑 (井上公園)

「ほろほろ酔うてこの葉ふる」

6 周布政之助の碑 (周布町)

幕末動乱期に長州藩の重臣として藩政に尽くした周布政之助。その偉勲を永久に伝えるため、自刃の地の近くに碑が建てられました。

ぶらり「足湯」めぐり

湯田温泉には無料で利用できる足湯が6箇所あります。散策で疲れた足を癒してください。

A 観光案内所前 利用時間/10:00~22:00

県道沿いにあり、分かりやすい場所です。観光客がよく利用するようす。

B 湯の香通り 利用時間/8:00~22:00

路地にあるため、落ち着いた雰囲気ゆつたりと過ごせます。

C 湯の町通り 利用時間/10:00~22:00

女性がストッキングなどを脱ぐための簡易脱衣場を併設しています。

D サンフレッシュ山口 利用時間/9:00~20:00

少し離れていますが、駐車場が多いので車で来る方には利用しやすい場所です。

E 井上公園 利用時間/10:00~22:00

井上公園の中にあるので、広々とした開放感のある足湯です。

F 湯田温泉駅前 利用時間/10:00~22:00

2011年9月完成の新しい足湯。山口線を行き来する列車を見ながら、足湯をどうぞ。



幕末から明治にかけて活躍した井上馨の生誕地で、園内には井上馨の銅像や七脚の碑、中原中也の詩碑、種田山頭火の句碑、足湯があります。

井上公園 02

←小郡IC



記念館 01 中原中也

詩人・中原中也の生誕地に建つ記念館。常設テーマ展は1年ごと、企画展は2~3ヵ月ごとに展示替えを行っています。中也の草稿、日記、書籍等の資料を通して、中也の世界観に触れることができます。

開館時間/5月~10月 9:00~18:00(入館は17:30まで)
11月~4月 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)・毎月最終火曜日・年末年始(12/29~1/3)
入場料/一般310円、大学生210円、小・中・高校生150円、70歳以上は無料
TEL/083-932-6430



中原中也
明治40年(1907)、山口市湯田温泉に生まれました。30歳という短い生涯を詩に捧げ、350篇以上の詩を残しました。死後、年とともに作品の評価が高まり、今では日本の近代文学を代表する叙情詩人に挙げられます。



写真提供: 中原中也記念館



レンタサイクル あります!

営業時間/9時~17時
利用料金/2時間以内 300円
4時間以内 400円
8時間以内 800円
台数/10台

湯田温泉観光案内所で 情報収集 00

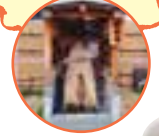
常時、観光案内と旅館案内のスタッフが在。市内観光から宿のことまで情報収集できます。湯田温泉の散策はこちらからどうぞ。

営業時間/9時~19時
休業日/年中無休
駐車場/3台
TEL/観光案内 083-901-0150
宿泊案内 083-922-1811



飲泉場

高さ1.2mの石から流れ出る温泉をぐい呑みで飲んでみよう。



開運飲泉 ぐい呑み

飲泉場で使えるぐい呑みを販売。1個100円

白狐伝説

昔々、湯田の権現山の麓の寺に小さな池があった。その池に毎晩、傷ついた白狐がやってきて、足をつけていた。この様子を見ていた寺の和尚さんが、不思議に思っ、その池の水をすくってみると、温かい。そこで池を深く掘ってみると、湯がこんこんと湧き、薬師如来の金像があらわれた。この仏像は拜んで湯あみをすると難病も治る。「白狐の湯」として評判となり、温泉は栄えるようになったという。

湯の町通りの各店舗にいます。手に持っているものを見比べてみよう。

タオル生地的巨大ゆう太。



ゆう太を探せ!

湯田温泉には至るところに白狐をモチーフにした湯田温泉の Mascot「ゆう太」がいます。いろんなゆう太を見つけてみよう!

丸くなる姿がかわいいゆう太。

凛々しいゆう太。キリッ。

お湯に浸かり、手ぬぐいまで……

温泉舎 03

湯田温泉街にある7カ所の源泉の一つで、湯が毎分125リットルも湧き出る様子が見られる「受湯槽」や自然石を利用した「飲泉場」、天然温泉の湯気と香りが体感できる「湯の川」などがあります。高さ約7.9mの槽が夜にはライトアップされ、湯田温泉のシンボルとして親しまれています。

湯の川 全長約13.4mの温泉が流れる川。天然温泉の湯気と香りを体感できる新しいスポットです。

維新の湯

幕末、湯田温泉では、高杉晋作、木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通、伊藤博文、大村益次郎、山県有朋、井上馨、坂本龍馬らが、しばしば会合し、倒幕・王政復古の密議をしたそうです。そのときに入浴使用したといわれる「維新の湯」が湯田温泉のホテルに残っています。

湯田温泉とは

湯田温泉の起りは、約800年前といわれ、けがをした白狐が癒すために浸かっていたという白狐伝説が残っています。湯量が豊富で、アルカリ性単純温泉の肌によく馴染むやわらかい湯が特徴。「美肌の湯」とも呼ばれています。

- 泉質/アルカリ性 単純温泉
- 泉温/無色透明の湯で、7つの源泉の最高温度は72度
- 湯量/1日2000トンの豊富な天然温泉
- 効能/神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこばり、うちみくじき、慢性消化器病、冷え性、健康増進、他
- 美肌の湯/アルカリ性が高い泉質は、肌をすべすべにする効果があります。



あとう和牛

阿東エリアの大自然の中で大切に育てられた「あとう和牛」。のびのびと育てられたあとう和牛は、独特のまろやかな舌触りが特徴です。良質な脂はどんな調理法にも合います。



あとう和牛のステーキ



海の幸

瀬戸内海に面しており、日本海にも近い山口市。瀬戸内海、日本海の両海で獲れる新鮮な海の幸を提供することが可能です。山口県内には、フグ、ケンサキイカ、ハマ、車えび、瀬つきあじなどのブランド魚が多く、山口市内の宿や飲食店などでは地元の鮮魚を積極的に取り入れた料理を提供しています。



甘鯛の刺身、ササエの刺身、甘鯛の骨蒸し



くりまさるケーキ

ココで食べられる
ココで買える
道の駅「長門峡」など



くりまさる

甘みの強い阿知須エリア特産のカボチャ。栗より糖度が高いので「くりまさる」と名付けられました。メロンとほぼ同じ糖度で、その甘味とホクホクした食感が特徴。スイーツ、コロッケ、煮物など、甘味を生かした料理に適しています。収穫期は7月～8月など。

道の駅「きららあじす」には、くりまさるを使用したソフトクリームやかりんとうなど、くりまさるスイーツがいっぱい!

ココで食べられる



はなっこりー

中国野菜のサイシンとブロッコリーを交配・育成した山口県オリジナル野菜。花も葉も茎も食べられ、しゃきとした歯ごたえと甘味があるのが特徴。サラダ、和食、洋食、中華と、幅広い料理に合います。収穫期は9月～4月。



はなっこりーの生ハム巻き



やまのいもの麦とろごはん



やまのいも

徳地エリアで栽培される「やまのいも」は、非常に粘りが強いのが特徴で、コシがあります。150年前から徳地エリアで栽培されていたという記録があるようで、古くから地元の人々のスタミナ食品として親しまれてきました。「つくねいも」「仏掌いも」とも呼ばれます。収穫期は11月など。

ココで買える
特産品・特産物加工販売所 南大門

山ぶらりの食

海や山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた山口。海産物、畜産物、農産物、土産物など、多彩な「山口の食」をお楽しみください。



車えび

秋穂エリアは、車えび養殖発祥の地。一年を通して新鮮な車えびを食べることができます。秋穂エリアの宿や食事処では、刺身、焼き物、フライ、天ぷらと様々な車えび料理が味わえるコース料理を提供しています。

ココで食べられる
国民宿舎海眺の宿 あいお荘
秋穂エリアの店 など

ココで買える
道の駅「あいお」
特産品ショップ「やまぐちさん」など

ばりそば

太めの中華麺を揚げて、野菜の入ったとろみのある鶏ガラベースのスープをかけた料理。「ばりそば」という名称は、麺がバリバリしていることに由来しています。ばりそばを提供する店舗は市内に数店舗あり、山口市のご当地グルメとして愛されています。

平成大内御膳【二献】

明応9年(1500)、室町幕府の第10代将軍だった足利義種が山口を訪れた際、30代大内義興がもてなした献立を忠実に再現しました。当時なかった醤油や砂糖などは使わず、塩と味噌、酢、酒などで味を再現したのが特徴。

お問い合わせ先/山口観光コンベンション協会 TEL083-933-0088



大内義興コース



足利義種コース

山口のご当地グルメ



山口的食

お土産篇

いろいろ 外郎

わらび粉を主原料として、小豆餡、小麦粉、砂糖などを練り合わせて蒸したのが山口的の外郎。ぶると柔らかい独特の食感と、上品で深い味わいが特徴です。山口を代表する伝統銘菓として、多くの人に親しまれています。

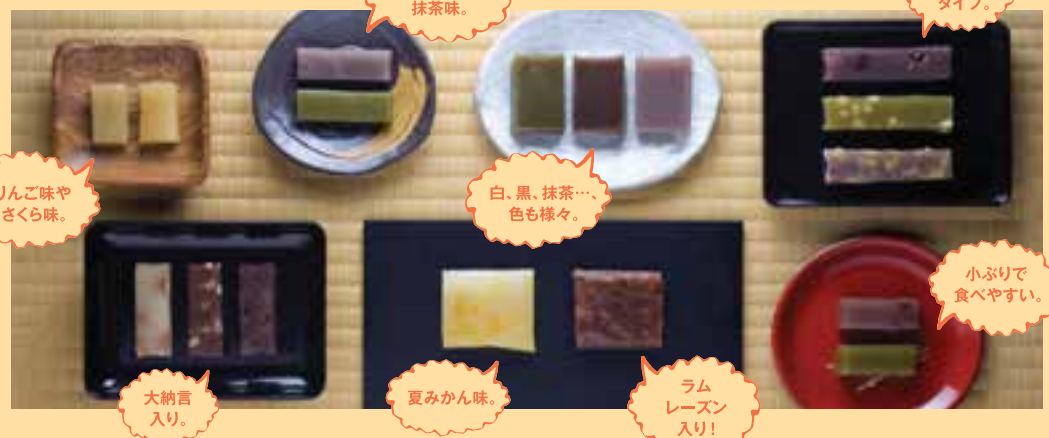
名古屋も外郎が名物ですが、山口的の外郎とは少し違います。名古屋の外郎が米粉を主原料としているのに対し、山口的の外郎はわらび粉を主原料としています。名古屋の外郎がもっちりとした食感で、山口的の外郎はぶるとした食感となっています。

■ 山口市内の外郎店舗のほか、山口駅・新山口駅・各旅館の土産店などで販売しています。

名古屋の外郎との違い

山口的の外郎 見くらべ 食べくらべ

山口市内には、外郎を製造・販売している店舗が多くあります。店舗によって、大きさや味が違うので食べくらべてみるのも楽しいですよ。



りんご味やさくら味。

定番は小豆味と抹茶味。

細長いタイプ。

白、黒、抹茶…色も様々。

小ぶりでお食べやすい。

大納言入り。

夏みかん味。

ラムレーズン入り!

山口的 伝統工芸品

大内塗



室町時代、大内氏による中国や朝鮮との交易で漆器が重要な輸出品とされていきました。山口的で漆工芸が盛んに行われました。天然木に大内朱と呼ばれる濃い朱色の漆を塗り重ね、色漆で描いた秋草模様と金箔の大内菱をあしらったのが特徴。盆、箱、皿、箸などさまざまな製品があります。国の伝統的工芸品に指定されています。

大内人形



男女で対になった「大内人形」には、こんな逸話が伝えられています。24代大内弘世は、京の公家から美しい花嫁を迎えましたが、花嫁は遠く離れた都を恋しがり、毎日寂しく思っていました。そこで、京から人形師を呼び寄せ、屋敷中を人形で飾り、花嫁を喜ばせました。その後、花嫁は幸せに暮らしました。大内人形は、この逸話を伝えるために作られたと言われており、夫婦円満の象徴にもなっています。

山口萩焼



萩焼は、萩市を中心に山口県下に広がりましたが、作られました。山口市では、1892年、萩から移住した大和作太郎松緑により窯の火が起されました。宮野に窯を築いたことから「宮野焼」と呼ばれ、主に萩焼を制作しました。現在では、伝統窯の火を守りつつ新風を求め、陶芸家たちが山口萩焼を創り出しています。



ココで買える

■ 阿東エリアのりんご園で購入できます。道の駅「長門峡」では、りんごを使ったスイーツやジュースなどを販売。

りんご

阿東エリアで栽培されるりんごは、その気候から糖度が高いのが特徴です。このエリアには、西日本最大の観光りんご園が広がり、時期によって異なりますが、ふじ、つがる、ジョナゴールドなどの品種を味わえます。



干しえび

秋穂産の赤えびを釜ゆでし、天日で干したものです。えびの旨味や美味しさが噛むほどに味わえます。酒の肴としてそのまま食べても、料理に加えても、美味しくいただけます。

ココで買える

■ 秋穂エリアの土産店などで販売しています。
■ 道の駅「あいお」
■ 特産品ショップ「やまぐちさん」

地酒

山口的には、清らかな水と良質の米で作られた地酒があります。山口的オリジナル酒米「西都の雫(さいとのしずく)」で作られたお酒には、目印の札が付いています。同じ酒米を使っても、酒造場によって味わいが異なります。お土産にピッタリの山口的産素材で作られた地酒です。

ココで買える

■ 山口市内の土産店や酒販店などで販売しています。

カワラケツメイ茶

カワラケツメイは、黄色の花が咲くジャケツイバラ科の1年草。徳地エリアでは昔からよく飲まれている健康茶で、弘法大師が飲んでいたとの言い伝えから通称「弘法茶」とも呼ばれています。カワラケツメイは、緑茶や紅茶と違ってカフェインが含まれていません。また、野草茶の中ではあっさりしていて万人受けします。

ココで買える

■ 南大門 ■ 重源の郷
■ 特産品ショップ「やまぐちさん」
■ 道の駅「仁保の郷」など



小郡まんじゅう 小郡饅頭

こしあんを薄皮で包んだ焼き饅頭。柔らかでしっとりと切った餡の味わいが特徴。「○」と「一」をあしらった「小郡まんじゅう」と、「小」の文字が入った「小郡饅頭」とがあります。

ココで買える

■ 新山口駅の土産店など

中部Area 【山口・小郡】



A 新山口駅で 出会える列車たち。

新山口駅は、山陽新幹線と3つの在来線が集まっており、バスの発着も多く、山口県の交通の拠点となっています。新山口駅から伸びる在来線のうち、山口線はなんと非電化路線！エンジンを積んで自走しています。全線単線なのも特徴。黄色の車両が一両でカタコトと走る姿は、山口線らしい風景です。



06 東鳳山・西鳳山

東鳳山(標高734.2m)、西鳳山(標高741.9m)と連っており、どちらも登山道が整備されて登りやすい山です。東鳳山は「新日本百名山」に選ばれています。



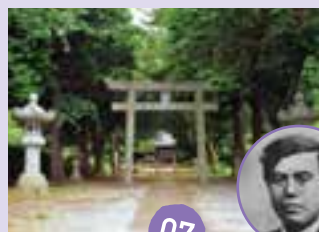
08 山口情報芸術センター[YCAM]

「見る」だけじゃない。メディアアートを楽しもう。

コンピューターや最先端の音響設備など、様々なデジタルメディアを駆使した新しい芸術表現がメディアアートです。YCAMでは、鑑賞者が触れたり、動いたりすることで作品が変化する双方向アートや、アーティストが作り出した空間表現を体感するインスタレーションなど、最先端のメディアアートを楽しむことができます。

展示スペース、劇場、ミニシアターと市立中央図書館を併設した複合文化施設。インスタレーション展、パフォーマンス作品の公演、サウンドイベント、ワークショップ、映画上映などを開催。国内外のアーティストを招いた滞在制作によるオリジナル作品を鑑賞しようと、県外からも多くの人が訪れます。

開館時間 / 10:00~20:00 (イベント開催時は22:00)
閉館日 / 火曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3)
入館料 / 無料
TEL / 083-901-2222



07 木戸神社

木戸孝允 (国立国会図書館蔵)

幕末に倒幕や薩長連合に尽力し、明治新政府樹立の大きな力となった木戸孝允(桂小五郎)を祀った神社。木戸孝允はこの地にあった旧宅や山林を地区民に寄付して子弟の学資とするように遺言を残しました。

開館時間 / 10:00~20:00 (イベント開催時は22:00)
閉館日 / 火曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29~1/3)
入館料 / 無料
TEL / 083-901-2222

03 源久寺・木造平子重経坐像

源久寺の開祖である平子重経は、鎌倉時代、源頼朝に仕えていた人物。鎌倉時代の彫刻の中で在家の人の肖像は少なく、1991年には、イギリス大英博物館での「鎌倉彫刻展」に出品展示されました。

源久寺のオオガハス

千葉県にある約二千年前の遺跡で見つかった種から咲いたオオガハスを譲り受け植えたもの。開花時期は7月中旬~8月上旬。



04 古熊神社

応安6年(1373)に大内弘世が京の北野天神を勧請したのが始まりで、元和4年(1618)に毛利秀就がこの地に遷宮したと伝えられています。本殿正面の三つの墓股(かえるまた)には松竹梅の彫刻があり、日本で建築の装飾に松竹梅の組み合わせを取り入れた最も古いものとして有名です。

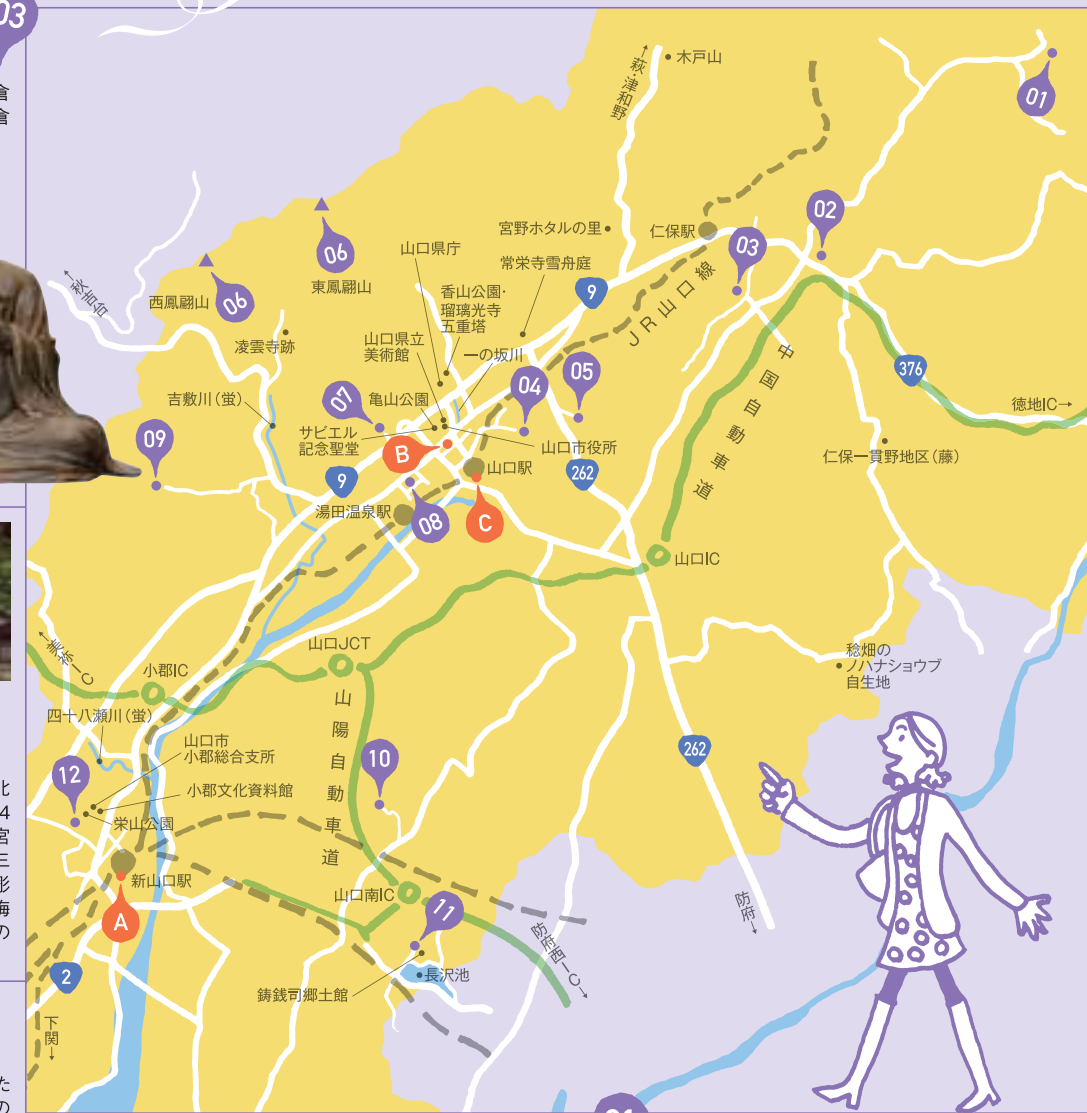
05 清水寺

山門には、約600年前に製作された県下でも数少ない仁王像の傑作といわれる木造金剛力士像が安置されています。山門をくぐると長い石段の参道が続き、登りきると観音堂と山王社本殿があります。平城天皇の御代(806~809)の創建と伝えられており、山口盆地の寺の多くが室町時代以降の創建であることを考えると、この周辺では最も古い寺といえます。

中部Area

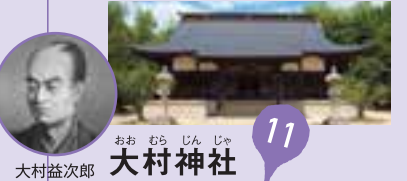
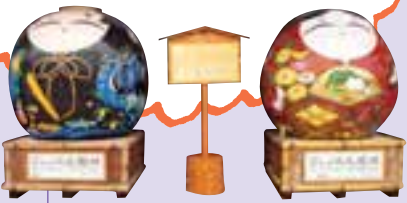
【山口・小郡】

山口市の中部には、県庁をはじめ、さまざまな機関や施設が集中している山口エリアと、新山口駅があり、交通の要衝となっている小郡エリアがあります。街、交通、自然、文化、歴史が融合した中部エリアの中から、訪れたい場所を見つけてください。



C 巨大な大内人形?!

JR山口駅では、直径1.5mの木製大内人形「フシノのお殿様」「フシノのお姫様」がお出迎え。着物には、山口の名所や四季の風景がデザインされているので、くると見てみよう!



17 大村神社

山口市鑄銭司出身で、日本の近代兵制の創始者である大村益次郎を祀る神社。境内からは近くの長沢池の全景が望めます。神社の周辺には、大村益次郎の墓、遺品や資料を展示した鑄銭司郷土館があります。



10 両足寺

紅葉の名所として知られている両足寺。山門から参道、境内と続く約150本のモミジが、秋になると寺を彩り、多くの観光客が訪れます。



09 龍蔵寺

楼門、鼓の滝、滝の奥にある奥の院、雪舟筆と伝えられる青馬の額など、見どころの多い龍蔵寺。春には150種1,000株のぼたんが咲き、秋は樹齢約900年と推定される国の天然記念物の大イチョウが黄色い絨毯を敷き詰め、四季を通して楽しめます。



12 其中庵

俳人・種田山頭火が、昭和7年から昭和13年までの間に過ごした庵を平成4年に復元したもの。庭園や水琴窟のある休憩所、山頭火が使用していた井戸などがあります。



11 大村神社

山口市鑄銭司出身で、日本の近代兵制の創始者である大村益次郎を祀る神社。境内からは近くの長沢池の全景が望めます。神社の周辺には、大村益次郎の墓、遺品や資料を展示した鑄銭司郷土館があります。

B 山口駅で 時間があるなら 特産品ショップ 「やまぐちさん」まで散策。

山口駅からまっすぐ歩くとショップが建ち並び駅通りがあり、さらに進むとアーケードに着きます。アーケード内にある特産品ショップ「やまぐちさん」には、特産品や山口ならではのオリジナル商品がいっぱい!お土産を探してみませんか?(山口駅から徒歩8分)



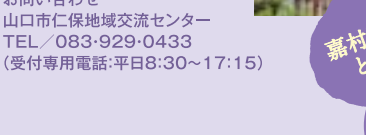
道の駅 仁保の郷

地元野菜、果物、特産品の直売所を中心に、菓子工房、餅工房、パン工房、レストランなどがあります。仁保川の清流に育まれた「カジカ米」、仁保出身の小説家・嘉村磯多ゆかりの「磯多餅」などを販売。



嘉村磯多生家・帰郷庵

私小説家・嘉村磯多の生家は築130年を経た古民家で、茅葺屋根や囲炉裏、五右衛門風呂があります。時間利用や宿泊利用が可能で古民家体験ができます。



嘉村磯多とは? 明治30年(1897)、山口市仁保郷に生まれました。波乱万丈な人生を描いた私小説を発表し注目を浴びましたが、病でわずか35歳の生涯を閉じました。

南部Area

【秋穂・阿知須】

山口市の南部は、瀬戸内海に面していることから年間を通して温暖な気候が特徴。瀬戸内海が見渡せるビュースポットが多くあります。車えびが特産の秋穂エリアと、居蔵造りの町並みで知られる阿知須エリアで、潮風を感じながらお過ごしください。



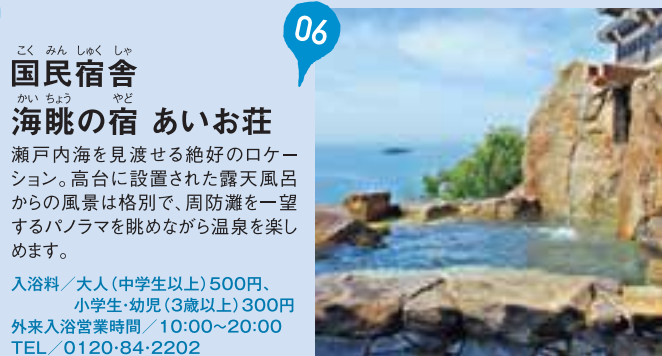
山尾庸三が寄進

参道の灯笼は、幕末、長州藩からヨーロッパに密かに留学した「長州五傑」の一人である山尾庸三が寄進したもの。



05 朝日山 真照院

高さ約70mの朝日山の中腹にある朝日山真照院は、千年以上に創建されたとされる寺で、秋穂八十八カ所の中心霊場。眺望が良く、瀬戸内海が一望できるビュースポットでもあります。



06

国民宿舎 海眺の宿 あいお荘

瀬戸内海を見渡せる絶好のロケーション。高台に設置された露天風呂からの風景は格別で、周防灘を一望するパノラマを眺めながら温泉を楽しめます。

入浴料/大人(中学生以上)500円、小学生・幼児(3歳以上)300円
外来入浴営業時間/10:00~20:00
TEL/0120-84-2202



08 山口きらら博記念公園

2001年に開催された山口きらら博のメイン会場を整備した公園。多目的ドーム、サッカーラグビー場などスポーツ施設のほか、水遊びができる月の海、トリムコースやネット遊具で遊ぶトリムの広場など体感型の施設も充実しています。

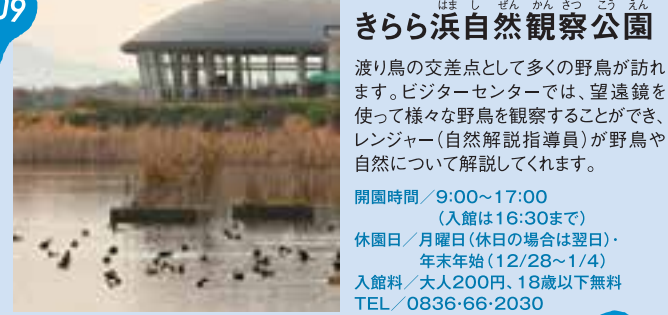
利用時間/9:00~22:00
トリムの広場 9:00~18:00 (11月~4月は17:00まで)
休園日/12/29~1/3
※休園日以外でも、保守点検等のため施設を利用できないことがあります。
TEL/0836-65-6903

07

正八幡宮 (重要文化財)

弘仁5年(814)に宇佐から勧請、文亀元年(1501)に大内義興が現在地に移築。現在の社殿は、元文5年(1740)に改築されたときのもので、楼門・拜殿・本殿、および庁屋が軒を接する建築様式は、山口地方独特のものであり、楼門・拜殿・本殿が国の重要文化財に指定されています。

09



きらら浜自然観察公園

渡り鳥の交差点として多くの野鳥が訪れます。ビジターセンターでは、望遠鏡を使って様々な野鳥を観察することができ、レンジャー(自然解説指導員)が野鳥や自然について解説してくれます。

開園時間/9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休園日/月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28~1/4)
入館料/大人200円、18歳以下無料
TEL/0836-66-2030

道の駅 きららあじす

地元野菜や特産品の販売のほか、パン工房、もち工房、軽食コーナー、鮮魚売場、レストランを併設した道の駅。特産品の「かぼちゃ「くりまさる」を使った様々な商品も販売しています。

営業時間/8:00~21:30(店舗により異なります)
定休日/不定休
TEL/0836-66-1001

阿知須のひなもん。

手作りのちりめん細工の人形や鞠をつなぎ、天井からいっばいにつるす「ひなもん」。鮮やかな色合いや、ちりめん細工のかわいらしい姿が見る人の心をつかみます。毎年2月に阿知須商店街にひなもんを飾り付ける「ひなもんまつり」を開催。



阿知須温泉

日本で屈指のラジウム含有量を誇る阿知須温泉。リウマチ、神経系統諸病に効能がある無色透明の単純弱放射能冷鉱泉。



10

阿知須 いぐらの館

阿知須エリアには居蔵造りの町並みが残り、明治17年に建てられた中川家はその造りを代表するもの。現在は「旧中川家住宅(愛称:阿知須いぐらの館)」として一般公開されています。

開館時間/10:00~16:00
入館料/無料
休館日/水曜日・木曜日・祝日の翌日・年末年始
TEL/0836-65-2403

居蔵造りの町並み

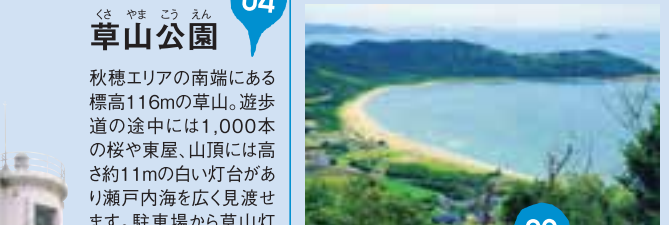
江戸中期から明治初期にかけて廻船業が栄えた阿知須エリア。建物が密集していたため、廻船業の人たちが、火事から家を守るため、瓦葺の屋根、漆喰で塗り固めた大壁、泥戸など防火機能に優れた「居蔵造り」の建物を建てました。阿知須浦地区には、今でもその町並みが残っています。



道の駅 あいお

車えびをイメージして建てられたユニークな建物。毎朝漁協から仕入れる新鮮な瀬戸内海の魚介や海産物、地元の農産物を販売しています。

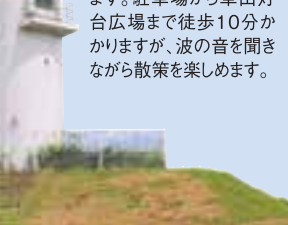
営業時間/9:00~18:00
定休日/第2・4水曜日
TEL/083-984-5704



03

中道海水浴場

弓なりにのびる砂浜が美しい中道海水浴場。海水浴だけでなく、ウィンドサーフィンやヨットなどマリンスポーツも人気。8月に行われる「えび狩り世界選手権大会」の会場です。



04

草山公園

秋穂エリアの南端にある標高116mの草山。遊歩道の途中には、1,000本の桜や東屋、山頂には高さ約11mの白い灯台があり瀬戸内海を広く見渡せます。駐車場から草山灯台広場まで徒歩10分かかりますが、波の音を聞きながら散策を楽しめます。



車えび養殖発祥の地。

秋穂エリアは、世界で初めて車えび養殖事業が始まった地。山口県萩市出身で「車えび博士」とも呼ばれた藤永元作氏が、廃棄された塩田跡で車えびの養殖を事業化しました。秋穂エリアには、車えびを提供する飲食店や車えびを販売している店舗が多数あります。



01

秋穂八十八ヶ所霊場めぐり

天明3年(1783)、盛光院の住職であった性海法印が開いた霊場。性海法印は、四国八十八カ所を巡り、各霊場から御符と霊場の土を持ち帰りました。その後、秋穂などの地に八十八ヶ所の地を選び、それぞれの地に霊場の砂を散布し、御符を供えて札所にしたのが始まりといわれています。秋穂八十八ヶ所は、正八幡宮境内の大師寺を第一番に巡礼には約2日間かかります。



北部Area 【阿東・徳地】

北部Area

【阿東・徳地】

山口市の北部は、中国山地の山間部にあたることから、山や森林、湖、溪谷など緑あふれる自然と出会うことができます。名勝長門峡のある阿東エリアと、森林セラピー基地のある徳地エリアで自然をたっぷり満喫してください。



ふれあいパーク大原湖
ケビン、オートキャンプサイトがある湖畔のキャンプ場。カヌー体験、フィッシング、マウンテンバイク、森林ウォーキングが体験できます。
TEL/0835-58-0200



道の駅 長門峡
長門峡の入口にある道の駅。情報案内コーナー、特産品販売所、レストランがあります。レストランでは、あとう和牛を使ったメニューを提供。
営業時間/9:30~18:00、(レストラン)11:00~21:00
定休日/第2火曜日
TEL/083-955-0777

長門峡 (国指定名勝) 07
川の水に浸食されてできた溪谷で、切り立った崖が両岸から迫り、奇岩や滝、深淵など独特の景観が広がります。道の駅から竜宮淵まで総距離約5.55km。ハイキングコースとしても楽しめます。新緑や紅葉の季節の美しさは格別。



静御前の伝説

源義経に愛された静御前。晩年の消息については不明な点が多く、日本各地に伝説が残されています。阿東の地には古くから静御前が母と共に都を落ち、大内氏が治める阿東の地で、ひっそりと終焉を迎えたとの伝説が言い伝えられています。墓所と思われる場所に宝篋印塔(ほうきょういんとう)が残されています。

森林セラピー基地

大原湖周辺は、森林セラピー基地に認定されています。愛鳥林エリア、大原湖畔エリア、長者ヶ原エリアがあり、体力に応じてコースを選ぶことができます。徳地の森の魅力を深く知る「森の案内人」が案内してくれます(要予約)。
案内人料金/半日:案内人一人1,000円
 全日:案内人一人2,000円
お申し込み/山口市経済産業部林業振興課
森林セラピー推進担当 TEL0835-52-1122

森林セラピーとは?

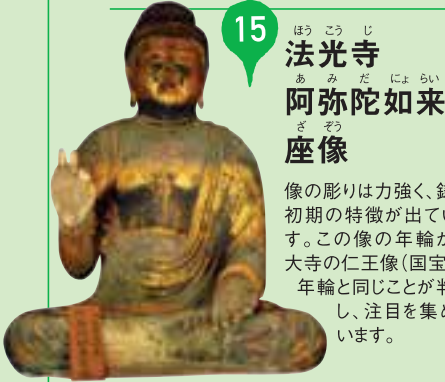
森が持つ癒し効果を科学的に解明し、心と体の健康づくりに活かしているという取り組み。「空気がおいしい」「景色がきれい」など、森の中で目や耳、鼻、手足を使い自然の素晴らしさを感じることでリラックス効果がより高まるといわれています。

常徳寺庭園

本堂の東側に池泉式鑑賞庭園があります。常徳寺庭園は、雪舟作ではないかという伝承記録があり、石組の構成が雪舟の作庭に似ているといわれています。他に例のない岩盤削り出しの滝石組や築山の独特な作庭技法、鍾乳洞の霊水の取り入れ等が判明し、優れた作庭として価値が認められています。

口ハス島地温泉

岩風呂とヒノキ風呂がある源泉掛け流しの温泉施設。食事処、農産物直売所、特産品販売所も備えています。
入浴時間/10:00~20:00(受付19:00まで)
休館日/水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
入浴料/大人(中学生以上)500円、小学生250円、乳幼児無料、貸しタオル100円
TEL/0835-54-4545



法光寺 阿彌陀如来坐像

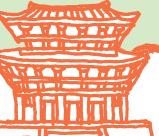
像の彫りは力強く、鎌倉初期の特徴が出ています。この像の年輪が東大寺の仁王像(国宝)の年輪と同じことが判明し、注目を集めています。

野谷・岸見の石風呂

重源上人が材木調達に従事した人々の保養のために始めた蒸風呂。野谷の石風呂は巨岩に横穴を掘って利用されていました。岸見の石風呂は、今も入浴体験ができます。
入浴料/1回10000円(事前予約・複数利用可)
お問い合わせ/山口市徳地総合支所総務課
TEL/0835-52-1118



重源の郷
茅葺き屋根や水車など、昔懐かしい山村風景を再現した体験交流公園。紙漉きや木工、竹細工、紙細工などの体験ができます。
営業時間/9:30~17:00(5月~10月)
 9:30~16:30(11月~4月)
定休日/水曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
入郷料/大人500円、小人300円
TEL/0835-52-1250



徳地の木が東大寺に!

平安時代末期、源平の戦いで東大寺は焼失しました。養和元年(1181)、東大寺再建の責任者に任命された重源上人は、佐波川上流の徳地の地を訪れ、山奥から大量の巨木を切り出して、東大寺の材木としました。巨木の伐採や運搬は困難を極めました。新技術を導入することで大量の巨木を奈良へ送ることができました。再建した当時のものとして、東大寺南大門が現存しています。

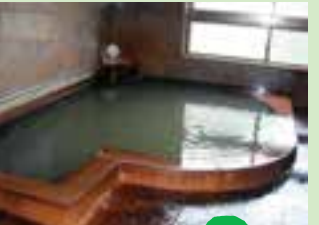


十種ヶ峰

標高989mの十種ヶ峰は、別名「長門富士」とも呼ばれています。登山、キャンプ、スキー、パラグライダーがで、アウトアスポットとして四季を通して楽しむことができます。
TEL/十種ヶ峰オートキャンプ場
083-958-0809
スキー場
083-958-0547

滑の三本杉

滑国有林内北部に立っている3本の天然杉。樹高約40m、樹齢約300年におよぶ巨木で、林野庁「森の巨人たち100選」に指定されています。



柚木慈生温泉

炭酸ガス、カルシウム、ナトリウムなどの成分を大量に含む全国でもまれにみる優れた泉質の温泉。湯治利用の方が多く訪れます。
営業時間/10:00~20:00
定休日/毎月5日・18日
利用料金/大人:入湯料、休憩料各500円、3才以上小学生以下:入湯料、休憩料各200円
TEL/0835-58-0430



徳佐八幡宮

参道の両側にしだれ桜とエドヒガン桜が約250本植えられている桜の名所。毎年4月上中旬には満開の桜が参道にトンネルを作り、多くの花見客が訪れます。



観光農園

阿東エリアでは、りんご・梨・ぶどうの観光農園が多数点在しています。特に、特産のりんごは15,000本を数える西日本最大の観光りんご園として親しまれ、りんご狩りはもちろん、太陽をいっぱい浴びた新鮮でおいしいりんごをその場で味わうことができます。
TEL/NPO法人あとう観光協会
083-956-2526

特産品・特産物加工販売所 南大門

徳地エリアの新鮮野菜や特産品の販売所。観光や史跡の紹介など、徳地エリアの情報収集もできます。
開館時間/9:30~18:00(月末日9:00~12:00まで)
休館日/年中無休(12/31~1/2除く)
TEL/0835-52-1772



月輪寺薬師堂

山口県下最古の木造建築物といわれています。一重寄棟造茅葺の簡素ながら調和のとれた様式が特徴。文治5年(1189)、重源上人が藤原兼実の協力を得て建立したものと伝えられています。

重源上人とは?

平安時代末期から鎌倉時代にかけて活動した僧、俊業房重源。東大寺再建を朝廷より命じられ、東大寺大勧進職として指揮をとりました。

歴史ある山口では、山口祇園祭や山口七夕ちようちんまつりなど、何百年も前から伝わる。伝統行事が大切に守られています。また、地域性を活かしたユニークなイベントも開催されています。

山口イベント

カレンダール

山口お宝展



山口の貴重な歴史的・文化的遺産をご覧ください。そのため、市内の神社仏閣、公共施設、民間施設等で普段は見ることのできないお宝が一斉公開されます。
※期間は変動する可能性があります。
場所／大殿・白石・湯田



湯田温泉 白狐まつり



「白狐が見つけた湯」という湯田温泉の伝説に因んで、白狐たいまつ行列などが催されます。期間中は、旅館内の内湯が割引で開放されます。
場所／湯田温泉帯



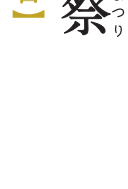
ほたる観賞 Week!



「の坂川に乱舞する国の特別天然記念物」ゲンジボタル。ホタルを観賞しやすいよう、兩岸の道路に交通規制を行います。期間中の土曜日には、コンサート等のイベントを開催。
場所／の坂川沿い



山口祇園祭



室町時代に大内氏が京都から勧請した八坂神社の例祭で、約600年続いている伝統ある祭。初日は、八坂神社で鷲の舞が奉納されたあと、祇園囃子や御神輿が御旅所まで練り歩きます。中日には、市民総踊りが行われます。
場所／八坂神社・豎小路
山口市中心商店街ほか



えび狩り 世界選手権大会



活きた車えびを海水浴場の干潟に放し、参加者が一斉に素手で捕まえる大会。捕まえた車えびの数を競います。車えび養殖発祥の地秋穂を代表するイベントで、毎年抽選になるほどの人気です。
場所／中道海水浴場



アートふる山口

「アートふる」とは、「アート」が「降る（fall...フル）」という意味の造語。「の坂川、豎小路周辺の一般の民家やお店などが懐かしいものや美術品、作品展示などを行い、地区全体が美術館になります。
場所／の坂川、豎小路帯



山口天神祭



古熊神社から御旅所まで、御神幸行列が練り歩きます。八坂神社から参勤交代を思わせる備立行列も合流し、江戸時代の風情を伝える歴史絵巻のような光景が広がります。
場所／古熊神社ほか
山口市中心商店街ほか



日本のクリスマスは山口から



日本のクリスマス発祥の地である山口。市内各所で「日本のクリスマスは山口から」を合い言葉に、イルミネーションなどクリスマス関連イベントが行われ、クリスマスを祝います。
場所／亀山公園ふれあい広場・山口市中心商店街ほか



※イベントの日程や開催の有無は、変更される可能性があります。

春

山口七夕

ちようちんまつり



約500年前から続く祭り。竹に付けたちようちん飾りが、街を赤く染めます。数万個の紅ちようちんが幻想的な光を放ち、商店街は紅ちようちんのトンネルで美しく彩られます。ちようちん山笠の巡行も行われます。
場所／山口市中心商店街・パークロードほか



夏

えび狩り世界選手権大会「8月下旬」場所／中道海水浴場
十種ヶ峰登山マラソン大会「8月下旬」場所／十種ヶ峰
とくち夏祭り「8月下旬」場所／出雲合橋付近

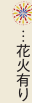
ゆうすげ祭り「7月中旬」場所／船平山
ふしの夏祭り「7月第4土曜日」場所／榎野川東津河川公園
山口祇園祭「7月20日〜27日」場所／八坂神社・豎小路・山口市中心商店街ほか
嘉年かかし祭り「7月下旬〜8月下旬」場所／国道31号沿い
山口七夕ちようちんまつり「8月上旬」場所／山口市中心商店街・パークロードほか
音楽フェスティバルと花火の夕べ「8月上旬」場所／陸上自衛隊山口駐屯地内

秋

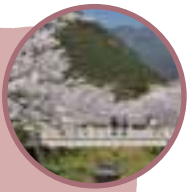
山口ゆらめき回廊「9月連休」場所／香山公園
アートふる山口「10月上旬」場所／の坂川・豎小路帯
岩戸神楽「10月上旬」場所／熊野神社
山口アーツ&クラフツ「10月下旬」場所／山口中央公園
長門峡もみじ祭り「11月上旬」場所／道の駅「長門峡」
やまぐちスヘインフェスタ「11月上旬」場所／山口市中心商店街
山口天神祭「11月17日〜25日」場所／古熊神社・山口市中心商店街ほか
あいお祭り・あいお花火大会「11月第1日曜日」場所／秋穂地域交流センター・大海漁港周辺
浜村杯秋穂ロードレース大会「11月第3日曜日」場所／秋穂中学校周辺

冬

日本のクリスマスは山口から「12月」
場所／亀山公園ふれあい広場・山口市中心商店街ほか
クリスマスナイトフェスティバル「12月23日」場所／阿東地域交流センター・地福分館駐車場
あいお道の駅まつり「12月下旬」場所／道の駅「あいお」
あとろ雪まつり「1月下旬」場所／十種ヶ峰スキー場
阿知須ひなもんまつり「2月上旬〜中旬」場所／阿知須商店街
高倉荒神祭「2月28日」場所／高倉荒神社



花のみどころ



桜

- 香山公園・瑠璃光寺【中部／3月下旬〜4月上旬／約170本】
- 重源の郷【北部／4月初旬〜上旬／約900本】
- 長沢池【中部／3月下旬〜4月上旬／約140本】
- 一の坂川【中部／3月下旬〜4月上旬／約200本】
- 大原湖岸【北部／3月下旬〜4月上旬／約600本】
- 岡山霊廟塔周辺【南部／3月下旬〜4月上旬／約125本】
- 古熊神社【中部／3月下旬〜4月上旬／約150本】
- 木戸山【中部／3月下旬〜4月上旬／約300本】
- 崇山公園【中部／3月下旬〜4月上旬／約150本】
- 草山公園【南部／3月下旬〜4月上旬／約1,000本】
- 木戸公園【中部／3月下旬〜4月上旬／約300本】
- 亀山公園【中部／3月下旬〜4月上旬／約30本】
- 徳佐八幡宮しだれ桜【北部／4月上旬〜中旬／約250本】

つつじ

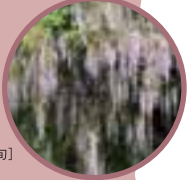
- 亀山公園【中部／4月下旬〜5月上旬／約1,000株】
- 県庁濠端【中部／5月中旬／約1,000株】
- 一の坂川【中部／4月下旬〜5月中旬／約1,000株】

ぼたん

- 龍蔵寺【中部／4月下旬〜5月初旬／約1,200株】

藤

- 仁保一貫野地区【中部／4月下旬〜5月上旬】



菜の花

- 八十八カ所街道沿【南部／4月上旬〜5月上旬】

菖蒲

- 総畑のノハナショウブ自生地【中部／6月中旬】

紫陽花

- 重源の郷【北部／6月初旬〜下旬／約5,000株】

はす

- 源久寺【中部／7月中旬〜8月上旬】

ゆうすげ

- 船平山【北部／7月中旬〜下旬／約1ha】



紅葉

- 龍蔵寺【中部／11月上旬〜下旬】
- 木戸公園【中部／10月下旬〜11月中旬】
- 龍福寺【中部／11月中旬】
- 両足寺【中部／11月中旬〜下旬】
- 妙見社の大イチョウ【北部／10月中旬〜11月中旬】
- 滑峽【北部／10月中旬〜11月中旬】
- 長門峽【北部／10月下旬〜11月中旬】

梅

- 其中庵【中部／2月初旬〜3月初旬】
- 香山公園【中部／2月初旬〜3月初旬／約40本】
- 赤崎神社【南部／2月初旬〜3月初旬】
- 重源の郷【北部／2月初旬〜3月初旬】



椿

- 両足寺【中部／3月／2本】

虫のみどころ



- 一の坂川【中部／5月下旬〜6月上旬】
- 宮野水女川の里【中部／5月下旬〜6月中旬】
- 吉敷川【中部／5月下旬〜6月上旬】
- 四十八瀬川【中部／5月下旬〜6月上旬】
- 佐波川関水【北部／6月中旬】
- 徳地串一帯【北部／6月中旬】
- 重源の郷【北部／6月中旬】

山口観光案内

山口市内公共交通の時刻、乗換検索はコチラ
山口市公共交通情報
 携帯サイト PCサイト
 山口市公共交通情報 検索

やまぐち 観光周遊バス おいでませ山口号

【山口・秋芳洞・仙崎コース】
 山口宇部空港(9時30分)→JR新山口駅(10時30分)→湯田温泉(11時)→国宝瑠璃光寺五重塔→常栄寺雪舟庭・秋吉台・カラストロート、秋芳洞→湯田温泉バス停・仙崎(金子みすゞ記念館)→JR東萩駅→湯田温泉(18時30分)→JR新山口駅(19時)

【秋・津和野コース】
 JR新山口駅(8時)→湯田温泉(8時30分)→JR東萩駅(9時45分)→萩(松陰神社、萩博物館、萩城下町、萩焼窯元など)→津和野、殿町、太鼓谷稲成神社)→湯田温泉(16時50分)→JR新山口駅(17時30分)→山口宇部空港(18時20分)

料金/1コース3,900円
 ※ガイド料込み、施設入館料、JR料金は除く
 運行期間/4月1日～9月30日毎日運行
 ※1名様より運行(要予約)
 お申し込み/おいでませ山口予約センター
 0836385515(平日10時～18時)

観光周遊タクシー 駅から観タクン山口

【ルート】
 JR新山口駅→山口サビエル記念聖堂→国宝瑠璃光寺五重塔→常栄寺雪舟庭→JR山口駅または湯田温泉

料金/2時間6,000円(小型・中型タクシー)
 ※施設入館料は除く
 利用時間/9時～15時
 お申し込み/JR西日本の主な駅のみどりの窓口

湯田温泉 乗合観光タクシー

【2時間コース/1人2,000円】
 出発時間/8時、9時、10時、15時
 湯田温泉→サビエル記念聖堂→パークロード→藩庁門→洞春寺観音堂→香山公園→国宝瑠璃光寺五重塔→の坂川→菜香亭→常栄寺雪舟庭→サビエル記念碑→JR山口駅→湯田温泉

【1時間コース/1人1,000円】
 出発時間/9時、10時、18時、19時、20時、40分
 湯田温泉→サビエル記念聖堂→国宝瑠璃光寺五重塔→の坂川→JR山口駅→湯田温泉

お問い合わせ
 湯田温泉観光案内所08339010150
 湯田温泉旅館協同組合加盟旅館
 湯田温泉旅館協同組合08339203000
 ※1名様利用可。4人以上のグループの場合は、出発時刻に関わらず臨時便あり。※有料施設の入場料は含まれておりません。※希望や時間の都合により、全て回れない場合がありますのでご了承ください。

レンタサイクル

【福武貸自転車(山口駅前)】
 2時間まで/300円(延長1時間毎100円)
 営業時間/8時～19時
 お問い合わせ/08339220915

【長州苑 瑠璃光寺支店 瑠璃光寺五重塔近く】
 半日/300円、1日/500円(電動自転車)
 営業時間/8時～17時
 お問い合わせ/08339211118

【山口市菜香亭】
 半日/200円、1日/400円(電動自転車、各100円増)
 営業時間/9時～17時(火曜日休館)
 お問い合わせ/08339343312

【山口ふるさと伝承総合センター】
 半日/200円、1日/400円
 営業時間/9時～17時
 お問い合わせ/08339283333

観光ガイド

【山口市観光ボランティアガイドの会】
 ●瑠璃光寺五重塔を含む香山公園一帯をガイド(3～4名程度)
 案内地域/香山公園一帯
 お申し込み/香山公園入口の東屋にグリーンシャワーを着たガイドが待機しています。

●市内どこでもガイド
 案内地域/山口市内全域
 案内時間/年末年始を除く 料金/無料
 お申し込み/申込者氏名、住所、電話番号、人数、希望するガイド地域と待合場所を明記の上、1週間前までにFAX08339282051
 お問い合わせ/山口市観光ボランティアガイドの会08339282000

【湯田温泉ワンコイン観光ガイド(要予約)】
 【ルート】
 湯田温泉観光案内所(集合)→高田公園→湯の町通り→元湯通り→湯の香通り→中原中也記念館
 案内時間/毎週日曜日10時30分(1時間程度)
 料金/大人500円、小中高400円
 ※中記念館入館料等込
 お申し込み/湯田温泉観光案内所
 08339010150 または宿泊先フロント
 ※お申し込みは前日まで
 ※湯田温泉(1)宿泊のお客様限定

やまぐち秋往還語り部の会
 (P7～8参照)案内地域/秋往還

周辺観光案内

秋吉台・秋芳洞

3億年の歴史を持つ日本最大のカルスト台地。秋吉台。地下には、地下水が石灰岩を溶かしてできた東洋屈指の大鍾乳洞、秋芳洞が広がります。
 山口市内から約26km/車で約35分



防府天満宮

延喜4年(904)創建。学問の神様・菅原道真を祀った日本で最初の天満宮。京都の北野天満宮、福岡の太宰府天満宮とともに日本の三天神とされています。
 山口市内から約19km/車で約30分



萩・城下町

毛利氏の城下町として260年間にわたって栄えた萩市。武家屋敷や土堀など、城下町の風情が今でも残っています。吉田松陰、高杉晋作など、維新の志士らを輩出した地でもあります。
 山口市内から約51km/車で約50分



長門・青海島

北長門海岸国定公園の代表的な景勝地で、「海上アルプス」とも呼ばれています。日本の荒波が、絶壁、洞門、石柱、岩礁など変化に富む景色を作り出しています。
 山口市内から約60km/車で約1時間10分



角島

本州と角島をつなぐ角島大橋からは、エメラルドグリーンの美しい海を眺めることができます。角島には、角島灯台や海水浴場、キャンプ場などがあります。
 山口市内から約83km/車で約1時間40分



下関

本州の最西端に位置する下関。歴史の舞台となった厳流島、壇ノ浦があり、レジャースポットとしては水族館「海響館」、唐戸市場、海峡ゆめタワーなど見どころの多いエリアです。
 山口市内から約69km/車で約1時間10分



錦帯橋

日本を代表する木造橋で、国の名勝に指定されています。錦川の清流に架かる美しい五連アーチが特徴で、日本三名橋のひとつに数えられます。
 山口市内から約94km/車で約1時間30分



津和野

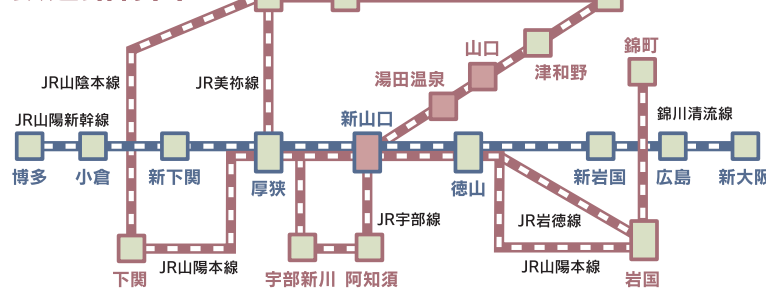
津和野は、山陰の小京都と呼ばれており、城下町の風情が残る町並みが続きます。鯉の泳ぐ掘割、森鴎外の旧宅など見どころが多く、津和野駅はSL「やまぐち」号の終着駅となっています。
 山口市内から約59km/車で約1時間10分



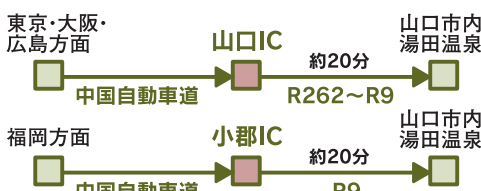
交通アクセス



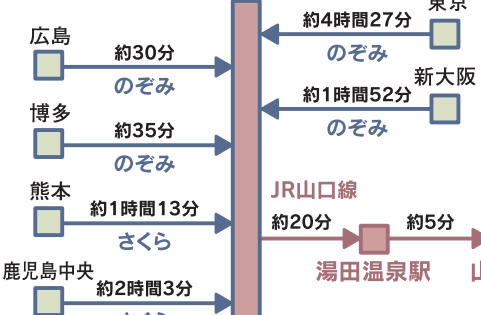
鉄道路線図



車で



新幹線で



飛行機で



美術館・博物館・資料館

山口県立山口博物館

理工・地学・植物動物考古・歴史・天文についての常設展示と、親子で楽しめる企画展を要し開催。
 開館時間/9時～16時30分(入館16時まで)
 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、全館休館日(年末年始、全館休館日)
 入館料/常設展 一般150円、学生100円 企画展:別途に定めた料金
 TEL/08339220294 [MAP: P5]

山口県立美術館

ユニークな自主企画展など、年間を通してさまざまなテーマの展覧会を開催。
 開館時間/9時～17時(入館16時30分まで)
 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館日
 入館料/コレクション展 一般300円、学生200円
 特別展:別途に定めた料金
 TEL/08339257788 [MAP: P5]

山口情報芸術センター YCAM

インスタレーション展、パフォーマンス作品の公演など最先端の芸術を体験。
 [P18参照]

おすすり歴史美術館

幕末維新の書画を中心とした常設展示のほか、年3回程度の特別展を開催。
 開館時間/9時～17時
 休館日/祝日(祝日の場合は翌日)
 入館料/一般200円、大学生150円、高校生以下無料
 TEL/08339328862 [MAP: P11]

クリエティブ・スペース赤れんが

美術展示(コンサート、演劇など)、文化芸術に関する発表・交流の場として広く利用されています。
 開館時間/9時～17時
 休館日/祝日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日12月29日、1月5日
 TEL/08339286666 [MAP: P5]

中原中也記念館

詩人中原中也の作品を通して、中也の時の世界観に触れませんか。
 [P12参照]

山口県埋蔵文化財センター

展示室や資料室の作業・土器などの接合・復元作業を見学できます。
 開館時間/8時30分～17時15分
 休館日/土曜日、日曜日、祝日、年末年始
 入館料/無料
 TEL/08339231060 [MAP: P3]

山口市歴史民俗資料館

幕末の長州藩、大内氏と大内文化の遺跡出土遺物、昔の米作りと農業に関する資料を展示。
 開館時間/9時～17時(入館16時30分まで)
 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
 入館料/一般100円、小中学生50円
 TEL/08339247001 [MAP: P3]

山口県政資料館

山口県政に関する資料を展示。
 [P14参照]

山口市小郡文化資料館

俳人・歌人・山頭火や彫刻家河内山賢祐の作品など、郷土に縁の深い作品や資料を展示。
 開館時間/9時～17時(入館16時30分まで)
 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
 入館料/無料
 TEL/08339737071 [MAP: P17]

瑠璃光寺資料館

五重塔の骨組みを紹介する15分の1模型全国の五重塔55基の模型などを展示。
 開館時間/9時～17時
 休館日/年中無休
 入館料/大人300円、小学生200円、小学生100円
 TEL/08339249139 [MAP: P3]

大村益次郎の遺品や遺墨を中心にも展示。瑠璃光寺跡から出土した遺物も展示。 開館時間/9時～17時(入館16時30分まで) 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料/一般100円、小中学生50円 TEL/08339247001 [MAP: P3]